

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成31年 1月17日

協議会名: 養老町地域公共交通協議

<p>①事業の結果概要</p> <p>【事業内容及び結果概要を記載】</p>	<p>②事業実施の適切性</p>	<p>③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針</p>
<p>【事業内容及び結果概要を記載】</p>	<p>【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】</p>	<p>【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】</p>
<p>【町の上位・関連計画の整理と公共交通の現状整理】 養老町の人口の推移、町の機能特性を整理する共に総合計画等の上位計画による町の基本方針の整理を行い、交通関連計画(養老圏交通圏地域公共交通網形成計画との関連性など)を整理する。また、町内を運行する公共交通路線の利用状況や運行状況を整理するとともに、運行にかかる経費、内訳となる国・県補助金、町負担金、収支率等を整理する。</p>	<p>■事業は適切に実施されている。</p>	
<p>【町民ニーズの把握(企画・実施・集計・分析)】 町民アンケート、乗降調査、利用者アンケート、主要集客施設調査等の計画、実施収集、分析を行い、町民の公共交通に対するニーズを把握する。また、交通事業者より問題点や改善点等についてヒアリングを行う。</p>	<p>■事業は適正に実施されている。 ○町民アンケート実施 ・15歳以上の3,000人に配布し、1,226票を回収し、回収率は40.9% ○乗降調査実施 ・路線バス平日各1日実施し、両日で853票を回収。オンデマンドバスは平日5日間で実施し、628票を回収。 ○バス利用者アンケート実施 ・路線バスで99票回収し、オンデマンドバスで84票回収。 ○主要集客施設調査実施 ・町内の集客施設6施設で実施し、945票回収。 *各種アンケートの実施にあたっては、町広報、町HP、調査対象バス車内等において、広く町民やバス利用者へ事前周知・PRするとともに、アンケート調査票に養老町公共交通マップや公共交通の現状に関する情報提供を行ったことで、回収率の向上につながったと考えられる。</p>	<p>課題整理等を基礎資料とし、意見の精査を行いながらH31年度に策定予定の地域公共交通網形成計画に反映し、各種施策・事業に取り組んでいく</p>
<p>【地域懇談会の開催】 地域懇談会を開催し、公共交通に対する町民の意見を聞く。また、会議の資料作成や会議結果のとりまとめを行う。</p>	<p>■事業は適切に実施されている。 ・町内を8区域に分割し、各区域で1回ずつ開催した。 ・各地区の懇談会には、概ね20人程度の町民に参加してもらい、公共交通の現状や公共交通への提案等をテーマにして意見をもたせた。 *懇談会の開催にあたっては、地域住民の参加が容易となるよう、きめ細かな単位(小学校区単位)で開催するとともに、各地区へ出向き、忌避のないご意見・ご意向を出される場の創出に努めた。</p>	
<p>【公共交通の課題整理と取りまとめと地域公共交通網形成計画(素案)の作成】 地域懇談会や町民ニーズの把握でのデータを基に利用者ニーズとの関係や公共交通の在り方等について課題を整理する。また、その課題を踏まえて、町の上位計画との整合性や養老圏交通圏地域公共交通網形成計画との整合性を図りながら、持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた計画のとりまとめを行い、「養老町地域公共交通網形成計画」の計画素案の策定を行う。</p>	<p>■事業は適正に実施されている。 ・町民アンケート等の結果に地域懇談会の結果を加え、養老町における地域公共交通の課題を整理した上で、課題への対応方針を検討・整理した。</p>	
<p>【協議会開催等】 町民ニーズの把握の結果や公共交通の課題について検討協議を重ねて「養老町地域公共交通網形成計画」の計画策定に向けた協議を行う。</p>	<p>■事業は適正に実施されている。 ・公共交通協議会は、計画どおり4回開催した。</p>	<p>H31年度は年間3回の開催を予定。以後、計画の進捗について、養老町地域公共交通協議において管理していく</p>